

VOICES from the ARCTIC

Vol.25 / 2023.6.1

ArCS II 国際政治課題
北極域実践コミュニティ事務局


ArCS II
Arctic Challenge for Sustainability II



CSCのスーパーコンピュータ「LUMI」、フィンランド・カヤーニでビジネスチャンスを生み出す



フィンランドの科学ITセンターであるCSC (the Finnish IT Center for Science) は、現在世界で3番目に強力なコンピュータとして位置づけられている最新鋭のスーパーコンピュータ「Lumi」で、ハイパフォーマンスコンピューティングの分野に波及している。CSCは国の研究システムの一部として、教育、文化、行政、企業向けに最先端のITサービスを開発、統合、提供している。Lumiはカヤーニ市の地域暖房に貢献しており、同市の年間熱需要の20%を供給し、暖房費の40%削減を実現しているため、カーボンネガティブなソリューションとなっている。

記事参照：  CSC's Lumi Supercomputer Creates Opportunities for Businesses in Kajaani, Finland - ArcticToday (2023.4.6/Arctic Business Journal)

ロシアが防空改革を計画 フィンランド近郊の防衛を強化へ、指揮官が発言

ロシアは、ウクライナ戦争での新たな経験を経て防空軍の大改革を計画しており、フィンランドのNATO加盟に対抗するために防空力も強化すると、ロシアの航空宇宙軍の指揮官が述べた。昨年2月にロシアがウクライナに侵攻して以来、戦闘は長期化し、ドローンやミサイルの広範な使用による砲撃戦に陥り、双方の防空力が試されている。

記事参照： Russia plans air defense reform, to bolster defenses near Finland, commander says - ArcticToday (2023.4.10/Arctic Today)



The Finnish and European Union flags flutter at the border crossing between Finland and Russia in Vaalimaa, Finland, as Finland becomes member of NATO on April 4, 2023. (Tom Little / Reuters)

Y-Kデルタの女性たち 外国の要人を前に気候変動と 共存する現実を語る



先週アラスカで開催されたArctic Encounter Symposiumに集まった数百人の国際的な要人や連邦政府関係者を前に、Y-K（ユーコン・クスクウィム）デルタのアラスカ先住民女性3人が気候変動の影響と村の移転について力説した。キャロライン・ジョージ氏は、ニングリク川のほとりにあるニュートクという小さなコミュニティで、5人の娘を育てている。気候の変化で荒れ果てた地域で生きるこの意味を、率直に語った。

記事参照：Y-K Delta women describe the realities of living with climate change for foreign dignitaries - Alaska Public Media (2023.4.5/Alaska Public Media)

北極圏の「氷の記憶」、南極で保存



北極圏の氷層が気候変動で融解してしまう前に過去の氷を取り出し、サンプルとして保存する「アイスメモリー」計画が4日、始動した。計画ではイタリア、フランス、ノルウェーの研究者8人から成るチームが、北極圏のノルウェー領スバルバル諸島で採取した氷を、南極に輸送して保存する。

記事参照：北極圏の「氷の記憶」、南極で保存：時事ドットコム (jiji.com) (2023.4.4/時事ドットコム)

北極海の観測強化、G7科技 相会合の共同声明に明記へ… 中露進出に対抗



政府は、5月に仙台市で開かれるG7科学技術大臣会合の共同声明に、北極・南極周辺の海洋観測を強化する方針を盛り込む方向で各国と調整に入った。特に地球温暖化の影響で氷が解けている北極海で、国際的に連携して気象状況の調査等を進める。経済や安全保障面で戦略的価値が高まる中、北極海への進出を強めるロシアや中国に対抗する狙いもある。記事参照：北極海の観測強化、G7科技相会合の共同声明に明記へ…中露進出に対抗：読売新聞 (yomiuri.co.jp) (2023.4.1/読売新聞オンライン)

妊婦救出のための660マイル の飛行がアラスカ特有の課題 を浮き彫りに



アラスカ州空軍は今週、ロシアから2マイル離れた小さな島で妊婦を救出するために約660マイルを移動した。アラスカ州は全米最大の州であり、最も離れた地域には道路が存在せず、病院も数百マイル離れている。これは、アラスカの患者が直面する問題を反映している。

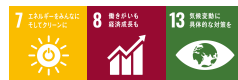
記事参照：660-mile rescue flight to reach pregnant woman highlights Alaska's unique challenges - Alaska Public Media (2023.4.7/Alaska Public Media)

フィンランドが歴史的な変化 でNATOに加盟、ロシアは 「対抗措置」で威嚇

フィンランドは火曜日、NATOに正式に加盟し、その旗は軍事ブロックのブリュッセル本部の外に上げられた。ロシアのウクライナ侵攻によってもたらされた歴史的な政策転換で、モスクワからは「対抗措置」の脅威もたらされた。フィンランドの加盟により、70年にわたる軍事的非同盟が終わり、北大西洋条約機構がロシアと共有する国境の長さが約2倍となる。ウクライナでの戦争が解決の目処が立たないまま進行する中、東側が強化されることとなる。

記事参照：Finland joins NATO in historic shift, Russia threatens 'counter-measures' - ArcticToday (2023.4.4/Arctic Today)

ヴァンダル大臣 ヌナプトに おけるグリーン経済とよりク リーンで安価なエネルギー構 築のための予算投資を強調



カナダの北方担当大臣ダニエル・ヴァンダル氏は4月4日にイカルイトを訪れ、バフィン地域商工会議所と会談し、再生可能エネルギーと重要鉱物に対する連邦政府の投資を強調した。ヴァンダル氏は、「2023年予算は、カナダの経済を発展させ、気候変動との戦いを進め、生活をより手頃なものにし、カナダの企業や労働者に新たな機会を提供するための重要な投資を行う」と述べた。

記事参照：🇨🇦 Minister Vandal highlights budget investments to build a green economy and cleaner, more affordable energy in Nunavut - ArcticToday (2023.4.7/Arctic Business Journal)

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標 (SDGs)』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。

Vol.25は、2023年4月前半のニュースを掲載しています。

フィンランドのNATO加盟に注目が集まった4月前半でした。NATO加盟で地政学的な緊張が高まっている一方、カーヤニでの再生可能エネルギーで稼働するスーパーコンピュータの立ち上げで、ビジネスチャンス創出と環境問題への取り組みが進んでいます。

発行元：ArCS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局
監修：大西富士夫（北海道大学北極域研究センター）
E-mail：tdcop@arc.hokudai.ac.jp
WEBサイト：<https://tdcop.arc.hokudai.ac.jp/>

